

回数 〔年度〕	問 題
第66回 〔平成28年度〕	<p>問1 住宅用地特例について、下に掲げる用語をすべて用いて述べよ。なお、これらの用語を解答文において最初に使用した箇所に下線を施すこと。</p> <p>専用住宅、併用住宅、小規模住宅用地、特定空家等、同一の者によって所有されていない場合、別荘、申告</p> <p>問2 固定資産税において課税客体となる償却資産の範囲及びその評価方法について、下に掲げる用語をすべて用いて述べよ。なお、これらの用語を解答文において最初に使用した箇所に下線を施すこと。</p> <p>減価償却額、取得価額が少額、自動車、未稼働の状態である資産、前年中に取得された償却資産、評価額の最低限度、改良費</p>